

祭司の王国の中の祭司であること

聖書：出 19:6 前半、啓 1:5-6、5:9-10、I ペテロ 2:5, 9、使徒 13:1-4 前半

I. 「あなたがたは、わたしにとって祭司の王国……となる」——出19:6前半：

- A. 神はイスラエル人を選んで、祭司の王国とならせました。神は全国民が祭司となることを願いました。そして、神の救いは祭司の王国を得るためでした—— 4-6 節。
- B. 旧約で描写されていることは単に絵であり、新約においてわたしたちはその実際を持ちます—— I ペテロ 2:5, 9：
 - 1. 今日、召会に対する神の意図は、すべての人が祭司となることです。わたしたちは祭司の王国です——啓 5:9-10。
 - 2. 祭司である主イエスは、わたしたちを彼の贖いを通して祭司の体系へともたらしめました。今、召会全体は祭司の体系であるべきです—— 1:5-6。

II. 祭司とは、神に対して絶対的である人であり、神によって完全に所有されている人であり、完全に神のために生活し存在する人です。あらゆる面で、またあらゆる点で、彼の唯一の関心は神です—— I ペテロ 2:5, 9：

- A. 祭司とは、最も正常で、最も正当な人です。すなわち、神のご計画が、ご自身を一群れの人々の中へと造り込んで、神を彼らの命とならせ、彼らを神の表現とならせるということを認識している人です—— 5, 9 節、啓 1:6。
- B. 正常で、正当な人とは、祭司である人、神に仕える人です。もしわたしたちが、わたしたちの行なうすべての事において神に仕える祭司でなければ、わたしたちは不正常です—— 5:10。

III. 祭司とは、神を受け入れ、神で満たされ、浸透され、飽和されている人です。彼らは神を自分の中から流れ出させて、神の生ける表現となります—— I ペテロ 2:5, 9：

- A. 祭司は神に仕える人ですが、これは、彼が神のために働いたり、あるいは神のために何かを行なったりすることを意味するものではありません。神に仕えるとは、神をわたしたちの中へと受け入れ、神で満たされ、浸透され、飽和されることです——ローマ 1:9、8:11。
- B. 神の意図は、単に神のために働くようわたしたちを召すことではありません。神の意図は、まずわたしたちが自分自身を神に開き、そして神がわたしたちの中に入ってきて、わたしたちを満たし、わたしたちを満ちあふれさせ、ついには神がわたしたちの存在のあらゆる部分を所有することです——エペソ 3:16-21。
- C. わたしたちの全存在は、神によって浸透され、飽和され、所有されなければなりません—— I テサロニケ 5:23：
 - 1. もしこれがわたしたちの状況であるなら、わたしたちは神と一になり、力としての神を外側で着るだけでなく、すべてとしての神ご自身をもって内側で飽和されます——ルカ 24:49、エペソ 5:18。
 - 2. わたしたちが神によって浸透され、飽和され、所有されるとき、自然に神はわた

したちから流れ出ます。またわたしたちはこの命の流れの中で、他の人たちと共に建造されます——ヨハネ 7:38. エペソ 2:21-22。

- D. 神は、わたしたちを召して神の「ために」何かを行なわせる意図は持っていません。そうではなく、神の意図は、わたしたちが神の召しに答えて、自分自身を神に開き、次のように言うことです、「主よ、わたしがここにいるのは、あなたのために働く用意をするためではなく、あなたによって満たされ、所有され、あなたと一になる用意をするためです」。
- E. わたしたちが主と一になり、主によって所有されてはじめて、わたしたちは主のために働くことができます—— 3:16-21. I コリント 3:9 前半. 15:58. II コリント 5:20. 6:1。

IV. 祭司とは、神とのミングリングの中で神と接触する人であり、また絶対に、また徹底的に、神とミングリングされている人です—— I コリント 6:17. ヨハネ 14:20 :

- A. 祭司が聖所を通過して、至聖所の中へと入ることは、彼が神と接触することです。このような接触は、彼自身の中にあるのではなく、神とのミングリングの中にあります。祭司が神と接触することは、神の中にあります——ヘブル 10:19。
- B. わたしたちは祭司として神と接触するとき、単に客観的に神と接触するだけではなく、主観的にも神と接触します。わたしたちは、神から離れて神と接触するのではなく、神の中で、すなわち、神とのミングリングの中で、神と接触します——ヨハネ 15:4-5。
- C. 神の定められた御旨とは、彼ご自身をわたしたちとミングリングさせることです。それによって神はわたしたちの命、性質、内容となり、わたしたちは神の団体の表現となります——エペソ 3:16-21. 4:4-6, 16。
- D. もしわたしたちが祭司として神に仕えようとするなら、ミングリングされた霊のビジョンを見る必要があります。すなわち、神聖な霊とわたしたちの再生された人の霊とのミングリングのビジョンを見る必要があります—— I コリント 6:17. ローマ 8:4 :
1. ミングリングされた霊は、主の霊でもあり、またわたしたちの霊でもあります—— II コリント 3:17. I コリント 6:17。
 2. ミングリングされた霊は、神と一つ霊である霊です。また、神の神格においては、神の命と性質において神と同じである霊です—— I ヨハネ 5:11. II ペテロ 1:4。
 3. わたしたちが祭司として生活し、仕えるために、認識する必要がある事は、今日、主イエスが三一の神の具体化として、その霊であって、わたしたちの霊に内住しており、わたしたちの霊とミングリングされて一つ霊になっているという事です—— II コリント 3:17. I コリント 15:45 後半. 6:17。

V. 祭司とは、主に仕える人です——使徒 13:1-4前半 :

- A. ある人たちはまず主のために選び分けられ、それから働きに当たりました—— 2 節。
- B. わたしたちが主のために行なうすべての働きは、主に仕えるというこのような祭司の奉仕から出てこなければなりません。これが、新約の働きの唯一の原則です—— 2-3 節。

C. 聖霊の働きは、主に仕えている時にのみ啓示されることができます。主に仕えている時にのみ、聖霊は人を送り出します——4節前半。

© 2015 *Living Stream Ministry*